

一九五八年度

# アマゾン地域入植地情況

(第三輯)

海協連アマゾン支部

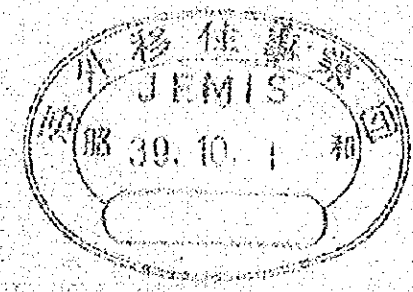
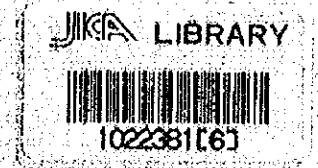
一九五九年五月

IV-19  
NK

一九五八年度

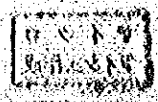
アマゾン地域  
入植地情况

海協連アマゾン支部



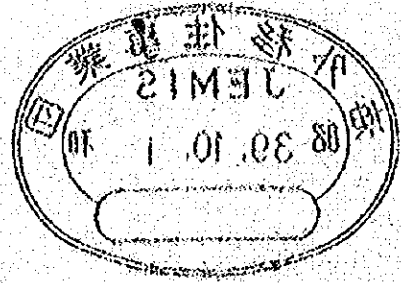
(第三輯)

国業報代謝烈岡	
0174	09.8.88 入植
ES	104 籍登
NHA	



一九五四年八月五日

道志野ビルディング収集



日本郵便  
道志野ビルディング

国際協力事業団	
受入 期日	84. 8. 14 703
登録No.	02957 25.4
	EA

マイクロ  
フィッシュ



## 序

昨年十二月末日を期して、当支部管下の各植民地入植地の事情とその営農状態を調査しましたが、その集計が漸く出来ましたので

### 一 アマゾン地域入植地<sup>地</sup>情況

#### ニアマゾン地域邦人移住者営農状況統計表

として謄写印刷に付しました(本年で才三回目である)。

この調査・統計について御承知願いたいことは、その対象が当支部管下の植民地および入植者に限られており、従って

#### 一 戦前の入植者

ニベレーン近郊 トメアスー植民地その他地方に散在している戦後入植者算が集計されていないこととあります。それは人手の不足と距離に因りますが、そのため「アマゾン地域」と冠しても、全体を網羅していないことは遺憾であります。致し方ありません。

この調査に当つては、当支部職員として入植者と各戸訪問して直接得た数字であり、前回二度の全驗を生かしておりますので、可成り正確に迫いものと信じております。

アマゾン地域は日本の十一倍もある広大な地域であつて、その気候・土壌が異なるばかりか、地方により生産物の販売価格も非常に差があり、さらに輸送・販路・入植年限・携行資金、あるいは永年作植付の諸条件および社会的条件等が各植民地毎に異なるので、単に集計された数字のみで各植民地の成績を批判することには非常な無理があるのであつて、正確を期するためには種の角度よりこれを分析する必要があつたのであるが、職員不足に加うるに業務多忙でその試みが出来得なかつたことは、洵に残念であります。

ともあれ、本支部職員として調査せしめたものを正直に集計したのが本記



録でありますので、その成績の可否は兎も角、当アマゾン地域入植者の情況  
と近い知る一助にもなれば幸甚に存じます。

一九五九年五月

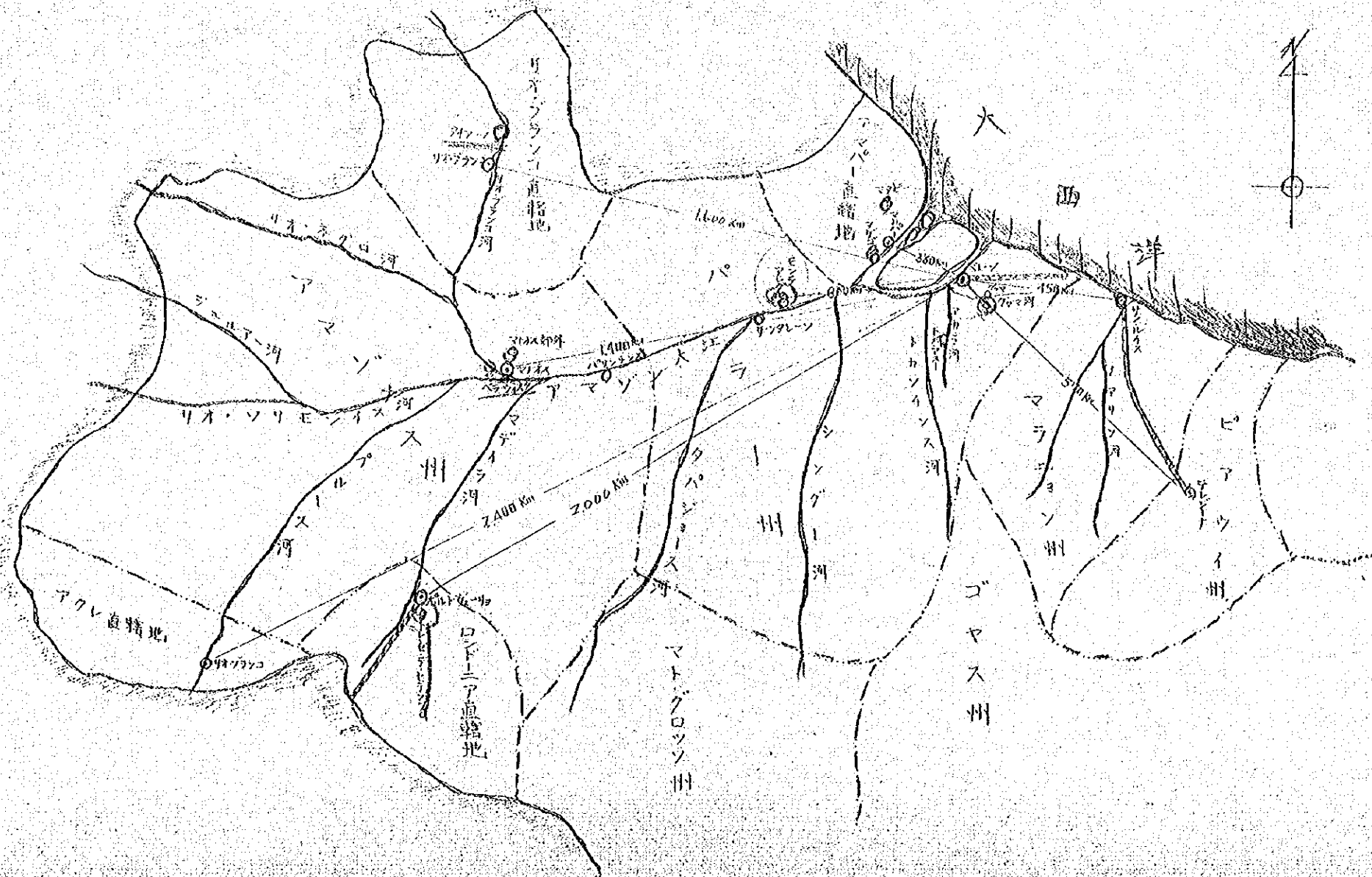
日本海外協会連合会

アマゾン支部長 右田純三

アマゾン地域入植者情况(才三輯)目次

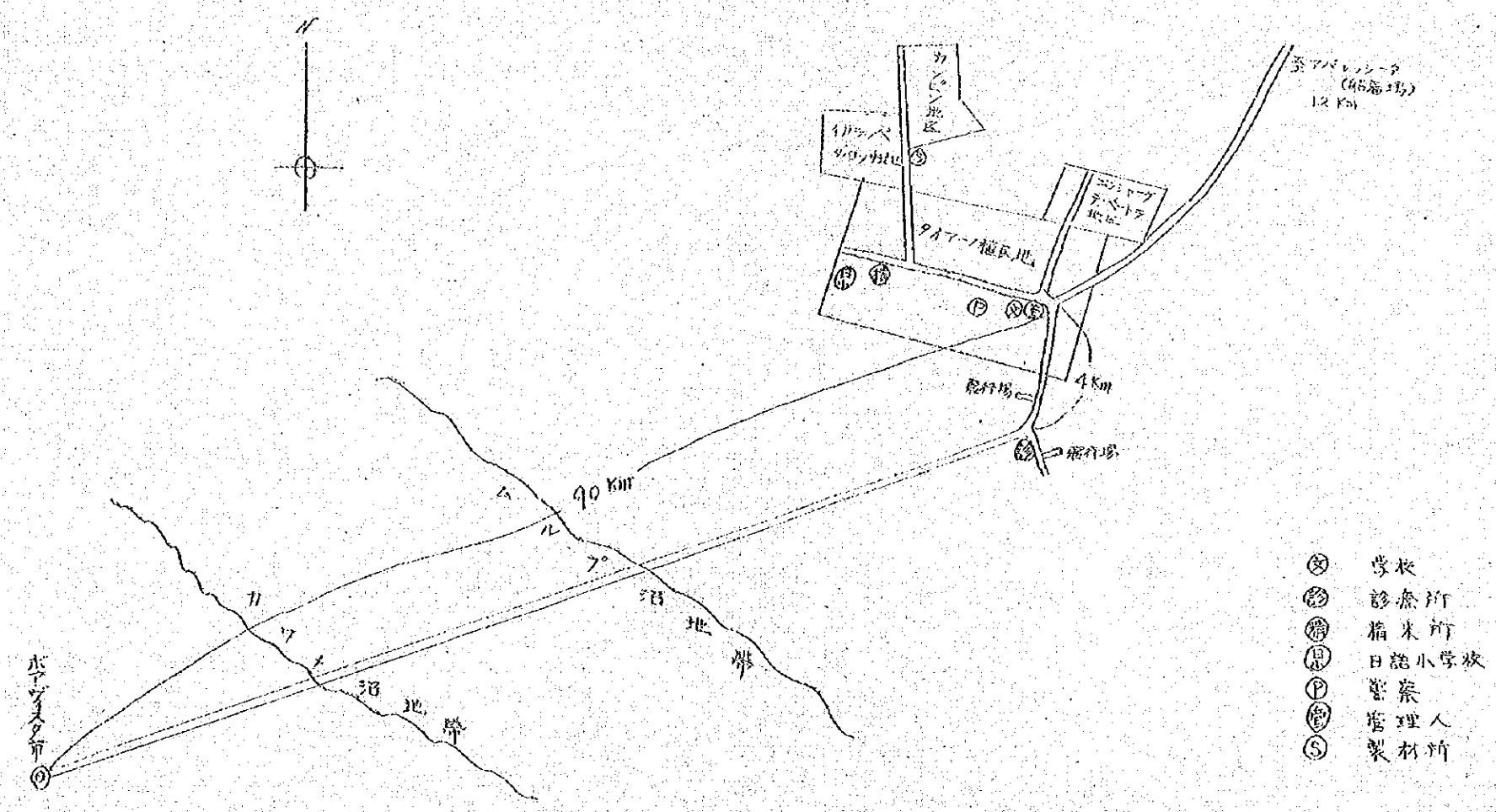
一	アマゾン地域邦人入植地分布圖	1
二	タイアールノ植民地	2
三	トレゼデセテンフロ植民地	7
四	ベラウイスタ植民地	11
五	マナオス郊外植民地	16
六	モンテアレグレ植民地	20
七	グワマ植民地	25
八	マタピー植民地	33
九	フアセンジニヤ及びマカパー市近郊	37
十	マザゴン植民地	40
十一	モンテアレグレ種苗園	43

アマゾン地域邦人入植地分布圖





# タイアノ植民地略圖



# タイアノ植民地

## 所在地

リオブランコ直轄地首都ホアウイスタ市の東北々約九〇料

## 経営主体

リオブランコ直轄地政府

(備考) 本植民地はホアウイスタ郡タイアノ地方に所在するため、俗にタイアノ植民地と称しているが、正式にはコロネルモンタ農家植民地と称する。

## 三面積

- (一) 総面積 三〇〇〇町歩以上(推定)
- (二) 既耕地面積 二三〇町歩
- (三) 邦人所有面積 三四〇町歩
- (四) 邦人利用面積 七二町歩
- (五) 邦人一戸当り面積 三〇町歩 (但しホアウイスタ農家植民地は各五町歩)

## 邦人植着数

- (一) 総入植着数 五〇家族
  - (二) 邦人入植着数 三七家族
  - (三) 邦人入植着数 一三家族
- 七六名

## 内訳

内訳	邦人入植者		非邦人入植者
	男	女	
邦人入植者	二一人	一六人	三九人
非邦人入植者	〇人	〇人	〇人

### 五 營農状態

別紙「邦人移住者營農状況統計表」を参照のこと

### 六 教育

- (一) 名称 ルイスバルボサ小学校
- (二) 面積 八米 × 一六米 一棟 トタン葺本建築
- (三) 教室 八米 × 八米 二部室
- (四) 教員 邦人(女) 二名
- (五) 児童数 邦人児童 一〇三名  
邦人児童 一七名

(註) 邦人児童数は総て入植者の子弟に非ず、付連住民の子弟が若干  
半放進くを占む

### 六 その他

日本人小学校(日曜学校)あり、面積六米 × 四米の椰子葺木造で、邦人  
児童の日本語教育に主眼を置く。授業は毎日曜日、教師日本人男子一名

### 七 衛生状態

- (一) 診療所 植民地より約四料離れたバラタ部落に政府直営の診療所一棟あり、  
本年度、植民地内に一ヶ所新設される予定
- (二) 医師 医師不在、看護夫一名駐在するも、現在のところ不在勝ちなり
- (三) 診察 毎月一回ポアウスタ市より医師が来診することになつてはるが、  
なか／＼出張せず、殆んど診察なきものとみてよい
- (四) 治療費 薬品 治療費総て無料
- (五) 薬品状態 薬品は常に不足勝ちにて、入植者は売薬を購入準備してはる
- (六) 一般衛生状態 一般に良好である

### 八 道路交通

- (一) 町までの距離 ポアウスタ市まで陸路九〇料、水路約一五〇料
- (二) 道路 道路は非常に悪く、未だ修理したことなし、途中ニヶ所に川があり、  
雨が橋梁なきため、五月より九月までの四ヶ月間は交通中絶となる



る。その間、水路を利用するも定期候なく、時々通過の民間船を  
利用する。乗船地矣。陸路一二軒あり、至極不供なり。

(三) 交通機関

豊稔期の向政府より自動車あり  
他に個人所有自動車数あり

(四) 銀行回款

政府トラックは不定期に毎月二、三回、個人所有トラックは  
週二、三回米種する  
船は不定期に月一、二回程あり

(五) 運賃

政府トラックは東運賃、生産物運搬共に無料  
個人車は一袋に対し六〇〇〇、乗車賃二〇〇〇

(六) その他

小笠飛行機あり、貸切り往復四〇〇〇〇以上を要し利用者  
少し

九、組合活動

- (一) 組合名 タイプーノ農業協同組合
- (二) 組合員数 二七名(男一八才以上男女)
- (三) 組合長 中崎一馬
- (四) 出資金 一七〇〇〇〇〇
- (五) 組合活動

組合結成後日々おぼろしく、また入植者が少故のために充分なる活動は行わ  
れず、現在海協連貸与の精米機による精米事業、教育、衛生、文化、その  
他入植者に必要なる事項の連絡を行う。 *入植者少故か?*

十、その他団体

青年会、婦人会があるが、有名無実の状態である。

十一、その他

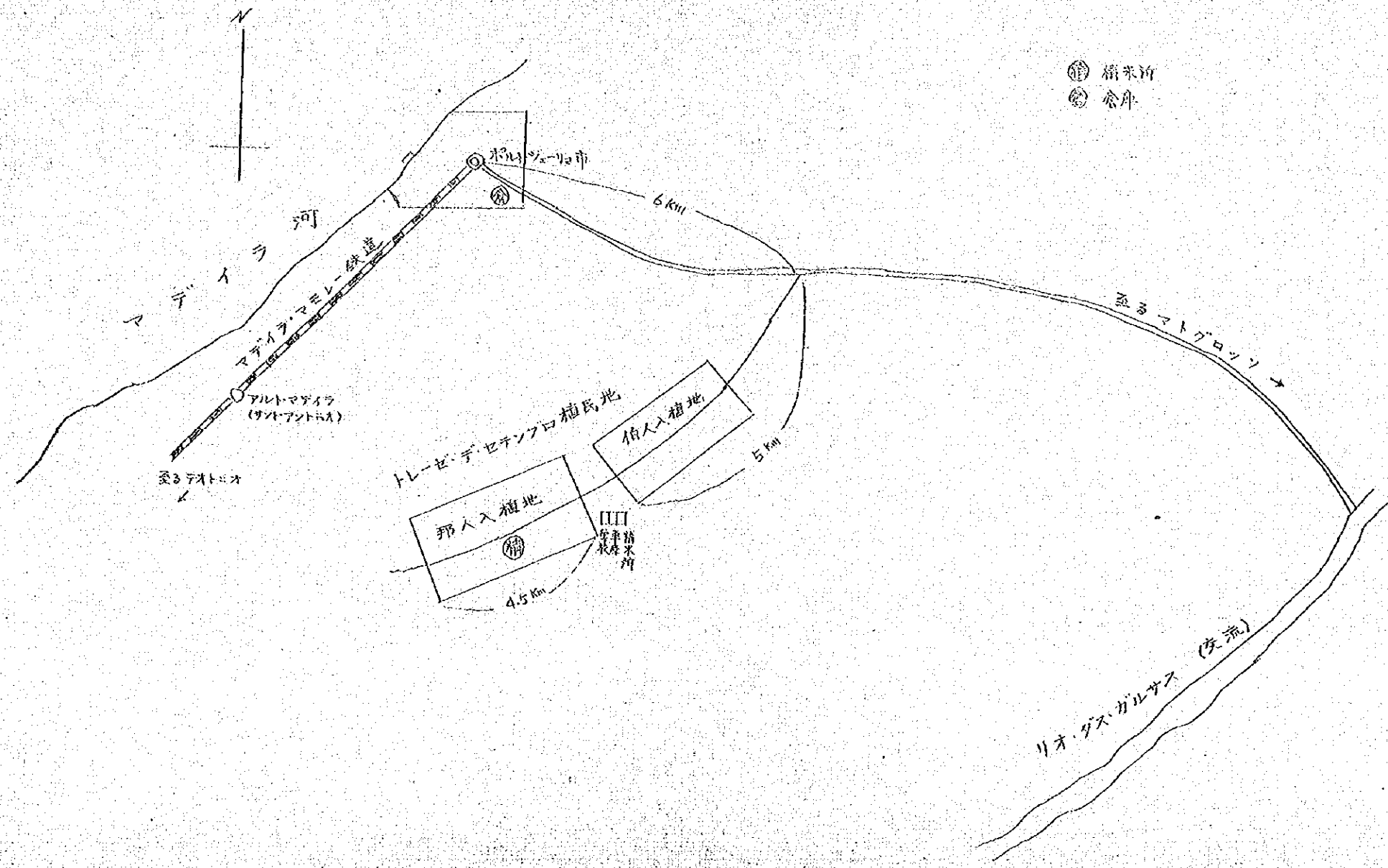
(一) 当植民地の問題の第一は、ボアウスタに通ずる道路にある。ニヶ所の架橋  
問題もあり、この解決には多大の費用を要するため、政治問題として解決  
するより方策をと思われ。

(二) 入植者少故のため、組合活動、共同作業等に不便を感じており、ホニ次入

植着を必要とする。

(三) 当植地はテイヤロツシヤ地帯で、作物の成長も良く、従つて多收穫を上げ得る好条件に恵まれた植民地であるが、三年に亘る旱魃のため永年性作物は相当數枯死して、一年性作物も減收する状態に、予想通りの成績を上げない。

トレーゼ・デ・セテンプロ植民地略圖





トレーゼ・デ・セテソングロ植民地

所在地

ロンドニア直轄地ポルトヴェーリョ郡

首都ポルトヴェーリョ市の南方九所の地より始まる

二 経営主体 ロンドニア直轄地政府

三 面積

(一) 総面積 一五七〇町歩

(二) 既耕地面積 八三九町歩

(三) 邦人所有面積 七二〇町歩

(四) 邦人利用面積 四七四町歩

(五) 邦人一戸当り面積 三〇町歩

四 入植者数

(一) 総入植者数 四八家族

(二) 邦人入植者数 二四家族

(三) 邦人入植者数 二四家族

一四五名

内訳

稼働人員 男 三六人

女 三四人

非稼働人員 幼児 七〇人

老人 五人

五 管農状態

別紙「邦人移住者管農状況統計表」参照のこと

六 教育

8.

(一) 名称 マリアデオドロニファオンセカ小学校

- (一)面積 一二米×二〇米 トタン葺木造建築
- (二)教室 一二米×一二米一室、教員室一室、圖書室一室、
- (三)教員 伯人(女) 一名
- (四)児童数 邦人児童 四六名  
伯人児童 一四名
- 計 六〇名

その他

二部教育、向食の配給あり。本町度政府より教員増員の約束あり。

七、衛生

(一)診療所 植民地内にはないが、病気の場合はポルトウエーリヨ市の病院

を利用してゐる。設備完全

(二)診察 定期回診なし

(三)治療費 有料と無料とがある

(四)薬品状態 有料なるも次の薬品は無料給付される

破傷風、毒蛇の血清注射、マラリヤ薬一般、貧血用薬、駆虫剤

(五)一般衛生状態 多量のマラリヤ病の発生あるも、他に風土病、流行病なし

(六)その他 入植以来現在まで病死者九名あり、主としてマラリヤ病後の衰弱

弱および余病併発による

八、道路交通

(一)町までの距離 邦人耕地よりポルトウエーリヨ市まで一十

(二)道路 最奥耕地まで直通し、毎年一回修理を行つたため、比較的良く管理

されてゐる。

(三)交通機関

ノ海協運賃とトラクター 一台

を直轄地政府トラック 一台

(四)運行回数 毎週定期的に水、土の二回

(五)運賃 乗車賃、荷物運賃共無料

九組合活動

(一) 組合名 ロンドーニア産業開拓協同組合

(二) 組合員数 二四名

(三) 組合長 坂部重五郎

(四) 出資金 五七六〇〇円〇〇

(五) 組合活動

1 購買部 生活必需品、肥料、種苗購入

2 販売部 米の共同販売を主とする

3 利用部 海協連貸与のトラクター運営、共同施設の設置運営

十その他の団体

(一) 青年会 娯楽催物一切、図書室開設および図書貸出し、一般文化教育機関

題

(二) 婦人会 青年会と連絡して親睦と生活改善運動を行う

十一その他

昨年本県直轄地知事就任後、入植地の発展に努力しており、トラクター一台

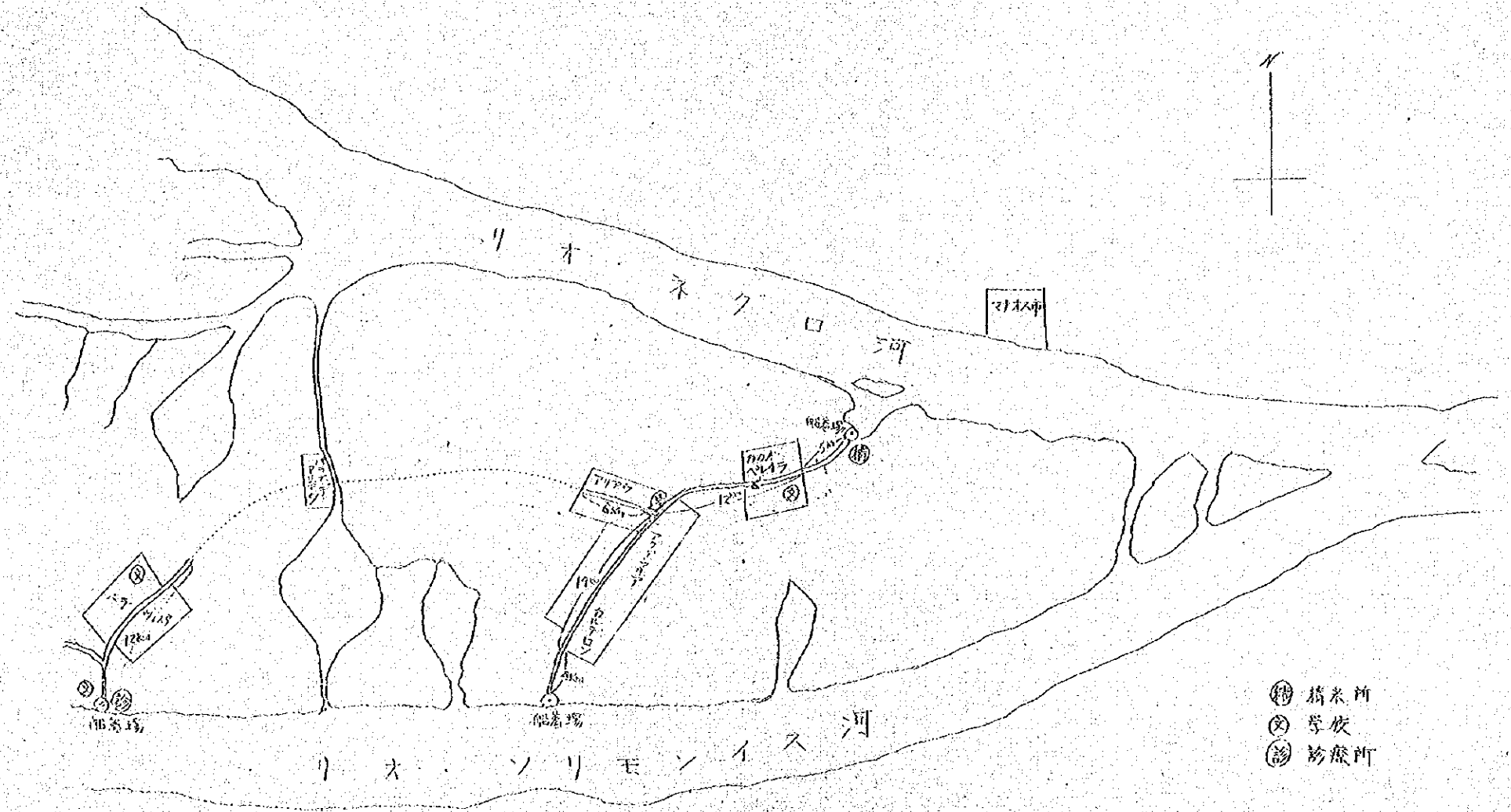
運搬用トラクター一台の本植民地配車と約束されている

本植民地はコム栽培中心の団体、多角的農法と採用する団体およびその両

者孰れにも欠かない団体とミグループに分れており、この産業組合がこの

ミグループの連絡機関となっている

ベラ・ウイスタ植民地略圖



- ⊗ 精米所
- ⊠ 学校
- ⊡ 診療所

ベラヴィスタ植民地

一 所在地

アマゾンナス州首都マナオス市より約六料離れたリオネグロ河の対岸より始  
まり、マナカプルスおよびマナオス二郡に亘る

二 経営主体 移植民院 (I.N.I.C.)

三 面積

(一) 総面積 一五〇〇〇町歩 (推定)

(二) 邦人所有面積 七五〇町歩

(三) 邦人一戸当り面積 二五町歩

四 入植者数

(一) 移入植着数 約一七家族 約七〇〇名

(二) 邦人およびその他入植着数 約八五家族 約五三一名

(三) 邦人入植着数

カルデロン地区	九家族	四五名
アリアウ地区	一〇家族	五〇名
アグアフリア地区	三家族	一九名
カカオメレイラ地区	六家族	三五名
植民地近郊	四家族	一六名
計	三二家族	一六九名

内訳

移植人員	男	五〇人
	女	四六人
非移植人員	幼児	七一人
	老人	二人



別紙「邦人移住者営農状況統計表」参照のこと

六教育

(一)名称	アリアウアツス中央小学校	カカオペレイラ小学校	(二)面積	アリアウアツス中央小学校	五米×八米	板瓦葺木造
			カカオペレイラ小学校	八米×九米	瓦葺本建築	
(三)教室	アリアウアツス中央小学校	五米×八米	一部屋			
	カカオペレイラ小学校	三米×四米	一部屋			
(四)教員	アリアウアツス中央小学校	日系伯人(女)	一名			
	カカオペレイラ小学校	伯人(女)	一名			
(五)児童数	アリアウアツス中央小学校	邦人児童	一名			
	カカオペレイラ小学校	伯人児童	一名			
		邦人児童	二一名			
		伯人児童	一名			
		計	五七名			

七衛生

(一)診療所	三ヶ所
(二)医師	医師不在、看護婦二名
(三)診察	各し、患者は全部マナオスに赴仰し診察を受く
(四)治療費	無料
(五)薬品	必要なる薬品乏しく、有料
(六)衛生状態	良好にして、何等風土病、流行病の発生なし
(七)その他	

植民地内の衛生設備は不完全にして、患者は設備の完全なマナオス市に赴き診察治療を受く。入植者五ヶ年間に死亡者六名にして、内事故死亡者三名、日本より持病の胃癌二名、風邪一名

八道路交通

(一) 町までの距離

カカオペレイラ港よりマナオス市まで水路約六料  
カルデロンよりマナオス市まで水路約三〇料

(二) 道路

植民地内の道路は最悪条件にあり、坂道多く、入植以来殆んど修理した  
ことなく、雨期には時々交通仕絶することあり

(三) 交通機具

- 1. 海協連貸与トラック 一台
- 2. 植民地トラック 一台
- 3. 海協連貸与モートル船 一隻
- 4. 植民地モーター船 四隻
- 5. 個人所有船外モーター船 五隻

(四) 就航回数

- 1. 定期便 陸水路とも毎週金曜日一回
- 2. 不定期便 入植者の要求により、不定期に何回でも運転

(五) 運賃

- 1. カカオペレイラよりアグアフリアまでの乗車賃 一〇〇〇〇
- 2. カカオペレイラよりカルデロンをらびに  
アリアウアッスまでの乗車賃 一五〇〇〇
- 3. 荷物六〇斤まで全区共 五〇〇〇
- 4. 備車  
カカオペレイラ区内、二〇〇〇〇  
アグアフリアまで、四〇〇〇〇  
アリアウアッスまで、五〇〇〇〇  
カルデロンまで、七〇〇〇〇
- 5. カカオペレイラよりマナオス市まで(水路) 一〇〇〇〇
- 6. 同区間荷物 一〇〇〇〇
- 7. 備船(同区間) 一五〇〇〇〇

(六) その他

1. 陸路は上述の通り悪条件で、何時事故を起し人命を失うかも知れぬ危険状態にあり、

2. 水上交通に至って便利なり

3. ベラウイスター地区には二家族在住するも、交通方面に因してはアグアフリア地区に準ずる。

九 組合活動

当地民地は幾度か組合が組織されたが成功しなかつた。それは市場に迫いたため各入植者が直接販売し易く、また邦人仲買人が数人いて、組合の育成が阻まれた。

十 その他団体

(一) アグアフリア自治会

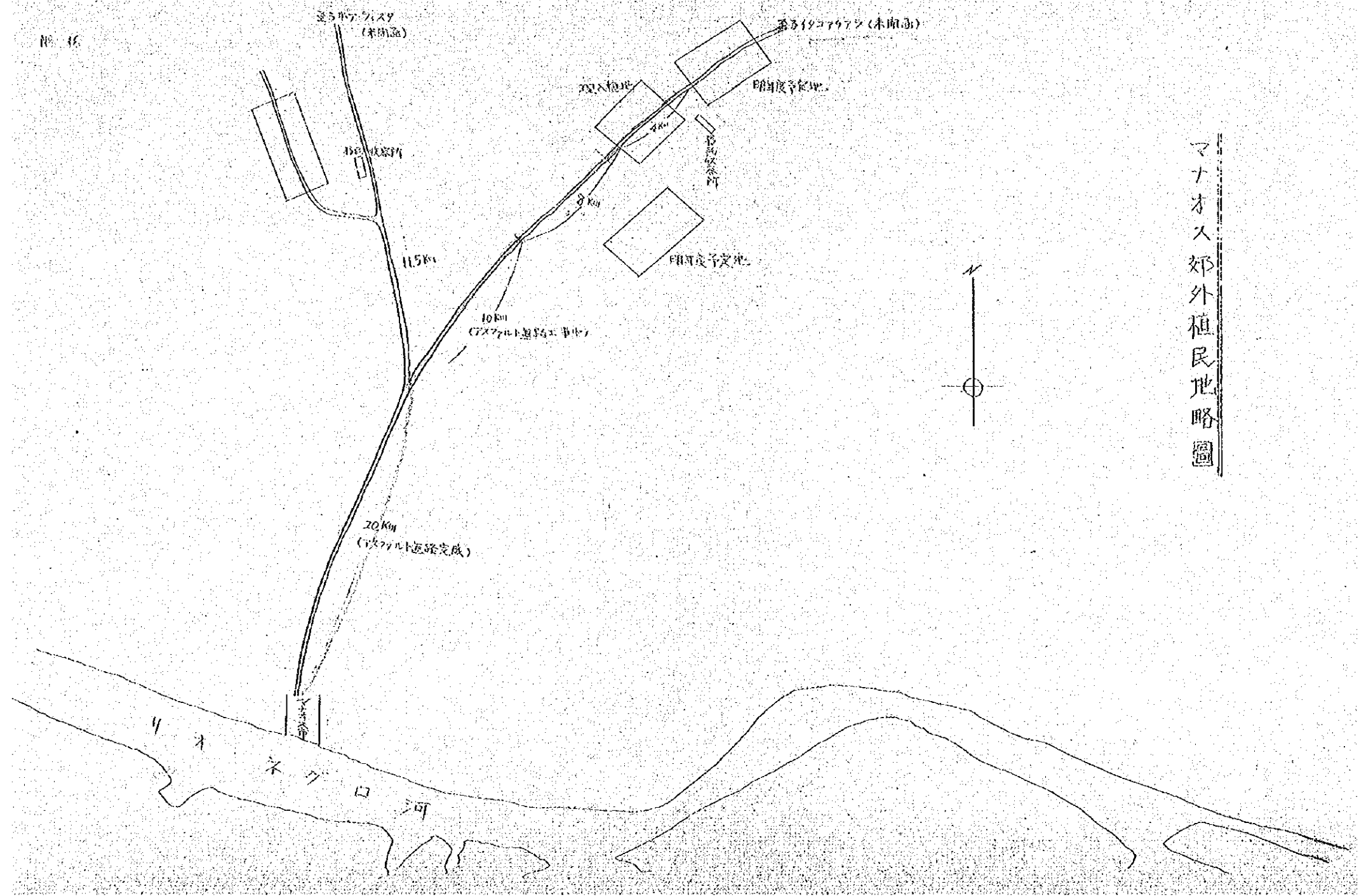
藤田猛氏を会長として、経済活動を離れ、入植者同士の連絡ならびに海陸運賃等のトラックおよび船舶の運賃を扱う。

(二) 青年会

最近諸隊の小たか、何等具体的活動としていない。

十一 その他

当植民地は入植当時より種々問題があり、脱耕者も多数出したが、現在残っている移住者は永年性作物の収穫もあり、マンジョカ栽培を中心とした落着きのある態勢をしている。



マテウス郊外植民地略圖

マナオス郊外植民地

一 所在地

アマゾンナス州マナオス郡

マナオス市の北々東三八軒より四二軒に亘る地矣

二 経営主体

アマゾンナス州

三 面積

(一) 総面積

不明

(二) 邦人所有面積

四二五町歩

(三) 邦人一人当り面積

二五町歩

四 入植者数

邦人入植者数

一七家族

一八名

内部

稼働人員

五九名

非稼働人員

五九名

五 経営状況

昨年十一月に入植したばかりで、しかも入植時期を失したのを見るべきものが多い。

初年度は一人当り五町歩宛山伐りを行つたが、山焼きを失敗した耕地もあり、各戸共相当苦勞している。

永年性作物の植付を真剣に考へていさうが、種苗の入手が思うに任せず難儀してゐるが、一部の者は野菜栽培に力を入れ、その成績は良好で、近々市販の出来る段階にある。



近く植民地内に小学校が建設される予定である。

七衛生

(一)診療所 近く設置の予定

(二)医者 月一回マナオス市より来診 看護士なし

(三)治療費 無料

(四)薬品 常備なし

(五)その他

入植早々は、長途の旅に疲れた身体に気候の変化を受けたため、下痢およびマラリヤ症状の崩れに悩まされたが、現在全良元気で定農に励んでいる。

なお、重症その他手術を要する患者はマナオス市の病院に入院させ、適切な治療としていく。

現在までの死亡者三名、内難産による者一名、扶心症一名

八道路交通

(一)町までの距離 植民地入口よりマナオス市まで陸路三十八軒

(二)道路

マナオス・イタコアチアラ本道に沿う植民地と、道路は新設のものがあり、舗装も殆んど植民地の付近まで完成しており、年内には移民収容所まで舗装されるので、交通状態は非常によい。

(三)交通機関

海協連貸与のトラック(五八年型フォード六屯車)が配属されており、定期運行を行っている。

九組合活動

近く結成の見込み

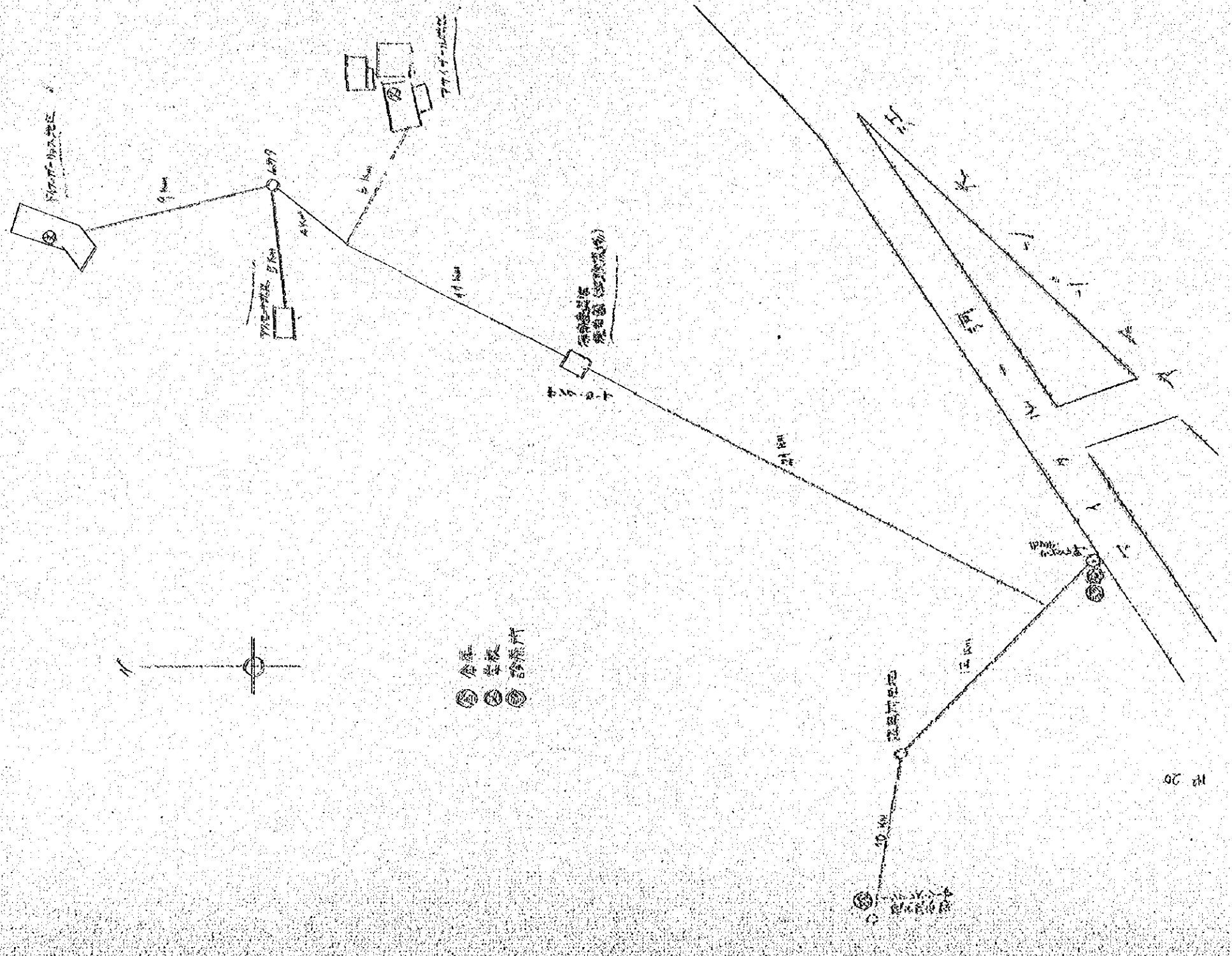
十その他団体

青年会

士その他

植民地自体創設早々であるので、施設不充分なことは致し方なく、また入植者も昨年十一月に入植したばかりで、大半が収容所に起居して自己のロツテにゆきにくいような有様であるので、これといった仕事ぶりもないが、今年八月にオーストラリア入植者が到着することにもなっており、追々施設も整備されることか期待される。また市場に直ぐ、輸送路が整備されていることは、生産物とへおれは羨望しても取れろという土地条件に恵まれていることであり、將來の展望は非常に明るい。

# モンテ・アルグレ植民地略圖



モンテアレグレ植民地

註、本表は便宜上アスセーナ地区をアサイザール地区に含めていふ。

所在地

パラナ州モンテアレグレ郡モンテアレグレ町より

1 アサイザール地区入口より 三八軒

2 ドイスガーリス地区入口より 四五軒

3 アスセーナ地区入口より 四一軒

経営主体 移住民院 (I.N.I.C.)

面積

(一) 総面積 三六〇〇〇町歩

(二) 既耕地面積 不明

(三) 邦人所有面積 三七六〇町歩

(四) 邦人一戸当り面積 四一八町歩

註、退耕者の耕地を購入したため、平均一戸当り面積が増大した。

回入植着数

(一) 総入植着数 約一〇六四家族 約五〇〇〇名

(二) 伯人入植着数 約一〇〇〇家族

(三) 邦人入植着数 六四家族 三九二名

アサイザール地区 三五家族 二〇七名

内訳

稼働人員 男 七六名

非稼働人員 女 四五名

幼児 八五名

老人 一名

ドイスガーリス地区 三九家族 一八五名

内訳

稼働人員	男	六一名
	女	四六名
非稼働人員	幼児	七五名
	老人	三名

五 営農状態

別紙ヨ 邦人移住者営農状況統計表ニ参照のこと

六 教育

- (一) 名称
    - アサイザール小学校
    - ドイスガールヨス小学校
  - (二) 面積
    - アサイザール小学校 六米×一〇米 板瓦葺木造
    - ドイスガールヨス小学校 四米×一三米 瓦葺木造
  - (三) 教室
    - アサイザール小学校 六米×一〇米 一室
    - ドイスガールヨス小学校 四米×八米 一室
  - (四) 教員
    - アサイザール小学校 伯人(女) 一名
    - ドイスガールヨス小学校 伯人(女) 一名
  - (五) 児童数
    - アサイザール小学校 邦人児童数 四二名
    - ドイスガールヨス小学校 邦人児童数 四一名
- (註) 両校とも伯人児童なし。
- アスセーナ地区では就学児童三名がムラタ小学校に通学してゐる。

(六) その他

教師は小学校卒業程度で学力なく、また独身のために気儘に休業して授業が充分行われない。

七 衛生

(一) 病院 診療所

植民地事務所に診療所一箇所あり、医師一名および看護夫三名駐在する。邦人入植地に遠く距つてゐるため殆んど利用出来ず、大部分はモ



ソチアレグレ町に出布し、SESP診療所を利用している。重症はサンタレイン市のSESP病院に入院する。

(一) 診察 無料

(二) 治療費 無料

(三) 薬品 町の薬店にて購入する。

(四) 衛生状態 良好

(五) その他

急患に対しては、植民地本部に連絡して医師を派遣して貰うこともある。快方に向わぬ患者は、モンテアレグレ町に在る組合倉庫二階を病室として引き取り、医者の方指示により加療する。

八道路交通

(一) 町までの距離

アサイザール地区よりモンテアレグレ町まで 三八料

ドイスガリリヨス地区よりモンテアレグレ町まで 四五料

アサセーナ地区よりモンテアレグレ町まで 四一料

(二) 道路

州道も入植地内道路も、改修されたため悪い。ドイスガリリヨス地区では邦人入植者によりフモト橋を新設した。アサイザール植民地内は二箇所、またモンテアレグレ町よりドイスガリリヨスに赴く三十八料の地帯に一箇所それぞれ急坂があるが、州政府も植民地側も何種改修を行っていない。

(三) 交通機関

当支部発着のトラックが、アサイザール地区へは毎週水曜日、ドイスガリリヨス地区へは金曜日にそれぞれ定期的に通り、またアサイザール地区へは伯人所有トラックが毎週金曜日配車されている。但し虫荷最盛期中はアサイザール地区へ毎週月、火、水の三日、またドイスガリリヨス地区へは木、金、土の三日運行している。

四 運賃

アサイザール地区	モンテ町間	一人または一俵	三〇〇〇
ドイスガリーヨス地区	モンテ町間	一人または一俵	三〇〇〇
		備車(七十俵)	二〇〇〇
		備車(六十俵)	二〇〇〇

九 組合活動

- (一) 組合名 モンテアレグレ産業組合
- (二) 組合員数 五八名
- (三) 組合長 石黒条吉
- (四) 出資金 二一、〇〇〇、〇〇〇

- (五) 組合活動
  1. 購買部 生活必需品の購買
  2. 販売部 生産物の販売
  3. 信用部 預金ならびに農業融資
  4. 利用部 自動車の運営

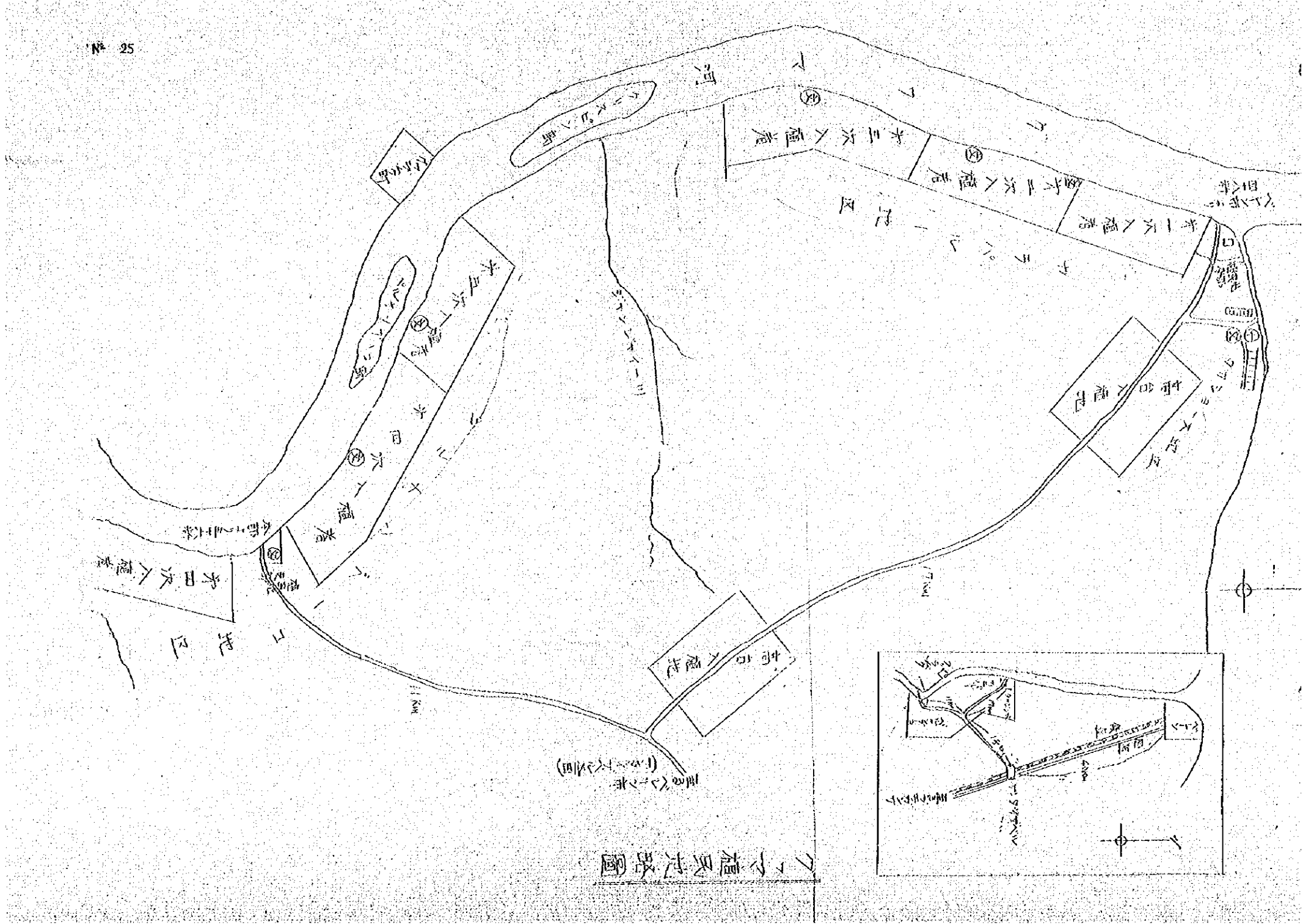
また自己の倉庫をモンテアレグレ町にもっている

✓ 本組合はアマン地域邦人入植者の組合としては最も強力なものである

十 どの他団体

- (一) ドイスガリーヨス地区青年会
  - 各種催物 機関紙「モンテアレグレ」の発行(月一回)、公民館の運営
  - 病人発生による人手不足家族に対する勤労奉仕
- (二) アサイザール地区青年会 各種催物
- (三) 婦人会 時々料理講習会を行う
- 十一 その他

この植民地の長所は土壌がテラロシヤおよび準テラプラクタから成つて  
 いる処多く、地味肥沃のため作物の成長よく、従つて収量も多い。またベ  
 レソンとマナオスの中間に在るので、両都市へ容易に出荷出来るのが強味



大壩及其附属设施图

グワマ植民地

一所在地

パラ州首都ベレーン市よりクワマ河沿いに、上流四十八料の地矣より始まり、約四十料（うち六料は私有地）の前面を待つて拡がり、ジョアンコエーリヨおよびニヤンカッペー兩郡に跨る。

二経営主体 移植民隊 (I N I C)

三面積

(一) 総面積

うちペルナンブーコ地区 三三、六一〇町歩

カラパルティ地区 二三、六八〇町歩

(二) 既耕地面積

うちペルナンブーコ地区 九八三〇町歩

カラパルティ地区 二、三一〇町歩

(三) 邦人所有面積

うちペルナンブーコ地区 三、二〇〇町歩

カラパルティ地区 一、〇八〇町歩

(四) 邦人利用面積

うちペルナンブーコ地区 二、五三〇町歩

カラパルティ地区 一、一三〇町歩

(五) 邦人一戸当り面積

二、〇町歩

但し所有面積中低湿地多くして利用可能面積が減少せしめるところもある。

四邦人入植者数

(一) 総入植者数

一八八家族 九九七名

(二) 白人および外人入植者数

七九家族 三九八名

(三) 邦人入植者数

一〇九家族 五九八名

うちペルナンブーコ地区 二九五名

カラパルティ地区 二九三名

内訳

技術人員

男 一〇一名  
女 八三名

非稼働人員 幼児 一一〇名

老人 一名

カラパル地区 五回家族 三〇四名

内訳

稼働人員 男 九三名

女 九五名

非稼働人員 幼児 一一五名

老人 二名

五 営農状態

別紙「邦人移住者営農状況統計表」参照のこと

六 教育

(一) 名称 タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

(二) 面積 タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

ペルナンブーコ小学校

タカジョース小学校

計 一四名

日系伯人(女) 一名

伯人(女) 三名

伯人(女) 一〇名

給食作成室(一部屋)

一部屋

一部屋

一部屋

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟

瓦葺本建築一棟



(4) 児童救

タカジョース小学校	伯人児童	二一六名
ベルナンブーコ小学校	邦人児童	一〇九名
	伯人児童	五〇名
	邦人児童	一三一名
計		五〇六名

但しこの児童救は、入植者ならかに植民地賑濟の子弟だけでなく、付近住民の子弟を含む。

また入学手續だけして就学してはなかに児童あり

(5) その他

グアマ植民地は略々四十軒に亘る広地域に入植してゐるため、就学上の便が悪く、米年度ベルナンブーコ地区三校、カラバル地区三校を開校し、各校に教師一名を配置する計画あり。米年度新学期より実施するにとらなつてゐる。

教室の不足により、現在二部教育を行つてゐる。

衛生

(1) 病院診療所

病院はタカジョース地区に一棟あり、瓦葺本建築で、診察室、治療室、

手術室、産室、歯科室および病室二部屋を有し完備してゐる。

診療所はベルナンブーコ地区に一棟あり、瓦葺木造である。

(2) 医師看護士

医師および歯科医各一名が、タカジョース病院とベルナンブーコ診療所と交互に診察治療してゐるが、植民地勤務は週平均四日位である。

別に看護士がタカジョース病院とベルナンブーコ診療所とに之れづゝ二名宛常駐してゐて、そのうちの一名が之れづゝの地区内を巡廻してゐる。但し看護士四名のうち二名は無免許と思われる。

(3) 治療費

診察治療は無料であるが、薬品は有料で、各自の負債となる。重病は植

民地勘定にてベレーン市の病院に入院させるが、その費用は個人の債務に振替えられる。

#### (四) 薬品

予算の肉添で不足勝ちであり、必要なる常備薬少し。

#### (五) 一般衛生状態

気候の変わり目の一、二月および七、八月には相当数のマラリヤ患者が発生したが、入植者が気候風土に馴れるに従い、且つまた最近経済的にも幾分向上を来し、食料事情も好転したため、病気発生は減少しつつある。その他には何等恐るべき風土病も流行病もない。

#### (六) その他

日本からの持病による病死者が五名あつた。

#### 八 道路交通

##### (一) 町までの距離

カラパル地区よりベレーン市まで

水路四十八軒 陸路七十五軒

ベレンアンブーコ地区よりベレーン市まで

水路八十四軒 陸路六十九軒

##### (二) 道路

グッマ植民地タカシヨース地区よりベレーン市までの陸路は十一月下旬に開通したが、未だ完成してはいない。他方ペルナンブーコ地区よりの道路も建設中であつて、孰れも明年六月頃完成の予定である。料地間には不完全ながら道路があるが、小川多く、架橋困難のため、自動車は通らず、主としてモーター船に依存してゐる。

#### (三) 交通機関

✓ 植民地船船三隻（四〇心、三〇心および八心積）

ベレーンまで毎週土曜日定期航路を行つ外、不定期に週平均二回就航する。

2 海協運賃船一隻（十心積）

定期的に毎週火、木、土の三回ベレーン市に往航、その翌日植民地に

継続する。

至として生産物輸送に従事する

3 植民地貨物の動向

道路完成後毎週火・土の二回ベレリンまで定期運行を行う予定で、現在同植民地内の運輸は停頓している。

4 入植者所有モーター船

5 その他

近々海防連よりモーター船一隻十五トン積モーター船が貸与されることになった。なお、目下建造中。

また道路完成後にも海防連と貸与の海防連支那が保管中、高台入植者の便益を図る。

(四) 運賃

1 植民地船

定期便の場合および生産物輸送については無料であるが、不定期の場合

合計一五〇〇。

2 海防連貸手船

植民地内

六才未満無料

六才以上

五〇〇。

ベレリン、植民地間

六才未満無料

六才以上

四〇〇。

荷物

二五担〜七〇担

一〇担以下

一〇〇。

一〇担〜二四担

五〇担以下

五〇。

六十一房

三〇。

九 組合活動

(一) プワマ植民地産業組合

1 所在地

グワマ植民地ベルナンブーコ地区

2 組合員数

五八名（伯人五名を含む）

3 組合長

山本繁

4 出資金

五八〇、〇〇〇、〇〇。

(1) 購買部 生活必需品、肥料、農薬の購買  
(2) 販売部 生産物販売

(3) 信用部 預金取扱ならびに農業融資  
(4) 利用部 船舶、トラクターの運営ならびに管理

(一) グワマ植民地オ一産業組合

1 所在地 グワマ植民地カラパル地区

2 組合員数 二四名

3 組合長 林 徹

4 出資金 二四〇、〇〇〇円

5 組合活動

(1) 購買部 生活必需品、肥料、農薬の購買

(2) 販売部 生産物の販売

(3) 信用部 預金取扱ならびに融資

(4) 利用部 船舶、トラクターの運営ならびに管理

ト芝の他団体

(一) ペルナンブーコ自治会。会長、谷口明水

ペルナンブーコ地区入植者全家長五四名が加入し、各種催物、道路管理、教育、その他自治上必要なる事業を行う。

(二) 八会。会長、林 徹

オ三次入植者十五家族が入植して、各種催物、農薬の共同購入、道路管理、日曜学校、農事研究、婦人会結成、団体交渉その他自治上必要なる事業を行う。

なお毎月八日に定期例会を行う。

(三) オ四次農事研究会。会長、今野大八

毎月一回以上集合して農事研究を行う。会員十一名

(四) オ五次農事研究会。会長、米倉豊

毎月一回以上例会を開き、農事研究を行う。会員六名

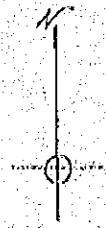
(五)宮崎縣人会。会長・橋村行義

縣人の親睦機関で、事業は行わぬ。会員十一名

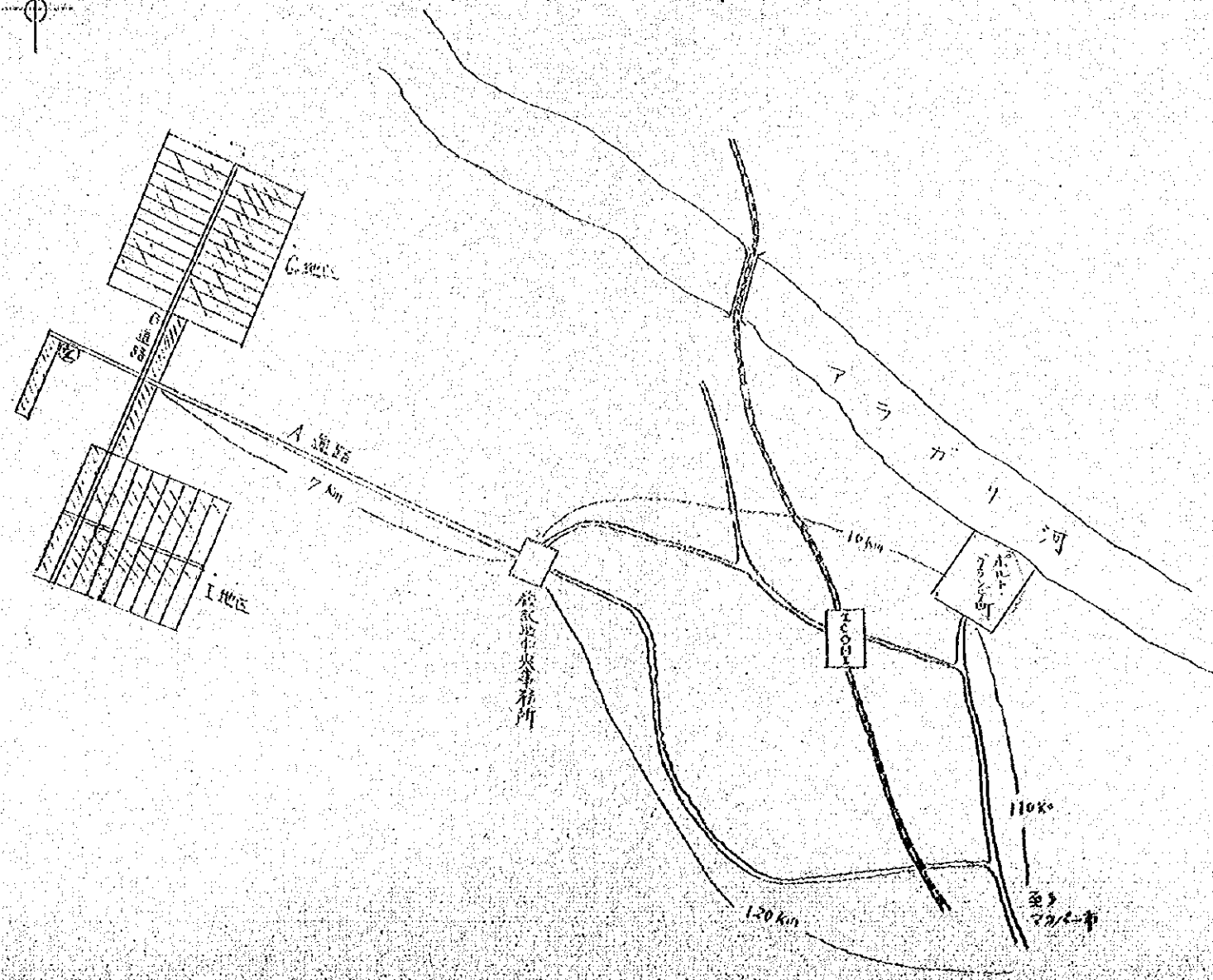
(六)水次類母子講。会長・斎藤市吉

会員十名に亘つて組織され、会費五〇〇円〇〇を払込み、入札で落す。

毎月才四日曜日に集會する。



マタピー植民地略圖



マツバノ植民地

一 所在地

マツバノ直轄地マカバノ郡に在り。首都マカバノ市の北方一二七軒の地矣  
より始まる

二 全営主体

三 面積

(一) 総面積 四八七五町歩

(二) 既耕地面積 一二九〇町歩 (うち再生林二〇五町歩)

(三) 邦人所有面積 一一七〇町歩

(四) 邦人一戸当り面積 三〇町歩(一五〇町歩)

退耕者の耕地と之の負債を肩替りして引受け、三耕地を所有する者あり。

四 入植者数

(一) 総入植者数 六六家族

(二) 邦人入植者数 四一家族

(三) 邦人入植者数 二七家族 一四一名

内訳

稼働人員 男 五三名

女 三八名

非稼働人員 幼児 五〇名

五 営農状況

別添「邦人移住者営農状況統計表」参照のこと

六 教育

(一) 名称 農村才二小学校

(二) 面積 一二米 × 一二米 トタン葺本建築

(三) 教室 六米 × 六米 一部屋



(四) 教員 伯人(女) 一名

助教員 日系帰化伯人(女) 一名

(五) 児童数 伯人児童数 六名

邦人児童数 二九名

(六) その他

本年度新学期よりマカパリー市の小・中学校への入学希望者が多数いる

七 衛生

(一) 病院診療所

診療所はあつても名目だけで、病気の時はマカパリー病院に行く

(二) 医師着数

現在植民地にはいない

(三) 診察

一昨年まではマカパリー市より週一回来診していたが、現在行われていな

い

(四) 治療費

特別の場合を除いて無料

(五) 薬品 常備なし

(六) 一般衛生状態 良好

(七) その他

再度政府と交渉して、医師の派遣および薬品の常備を申請したが、実現

を見ていない

八 道路交通

(一) 町までの距離

ホルトグラントまで 一七料

マカパリー市まで 一七七料

(二) 道路

マカパリー市より植民地入口までは平原であるため、道路はよく管理され

といるが、植民地内は坂もあり、悪路である。特に雨期には交通不能の  
場がある。

交通機関

海防軍支那隊員のトラックがあるが、故障のため運休中である。  
植民地政府のトラックは毎週月、上の二回定期便（往復）として運行  
している。

その他必要に応じて勤いといふ個人所有のトラック便（不定期）あり。  
またボルトゾランデからは毎日汽車の便がある。

郵便

植民地よりマカパー市まで 乗車賃 30000

生産物 肥料

(註) 運搬手により有料の場合もある。

(五) その他

出荷日が月、土曜のため日曜日の販売が不可能であるので、入植者一  
同は一週向近くマカパー市に滞在しなければならず、非常に不利不便  
を感じている。

九組合活動

アマパー産業協同組合が名のみ存在しておるが、内紛のため現在活動停  
止状態にある。

十その他の団体

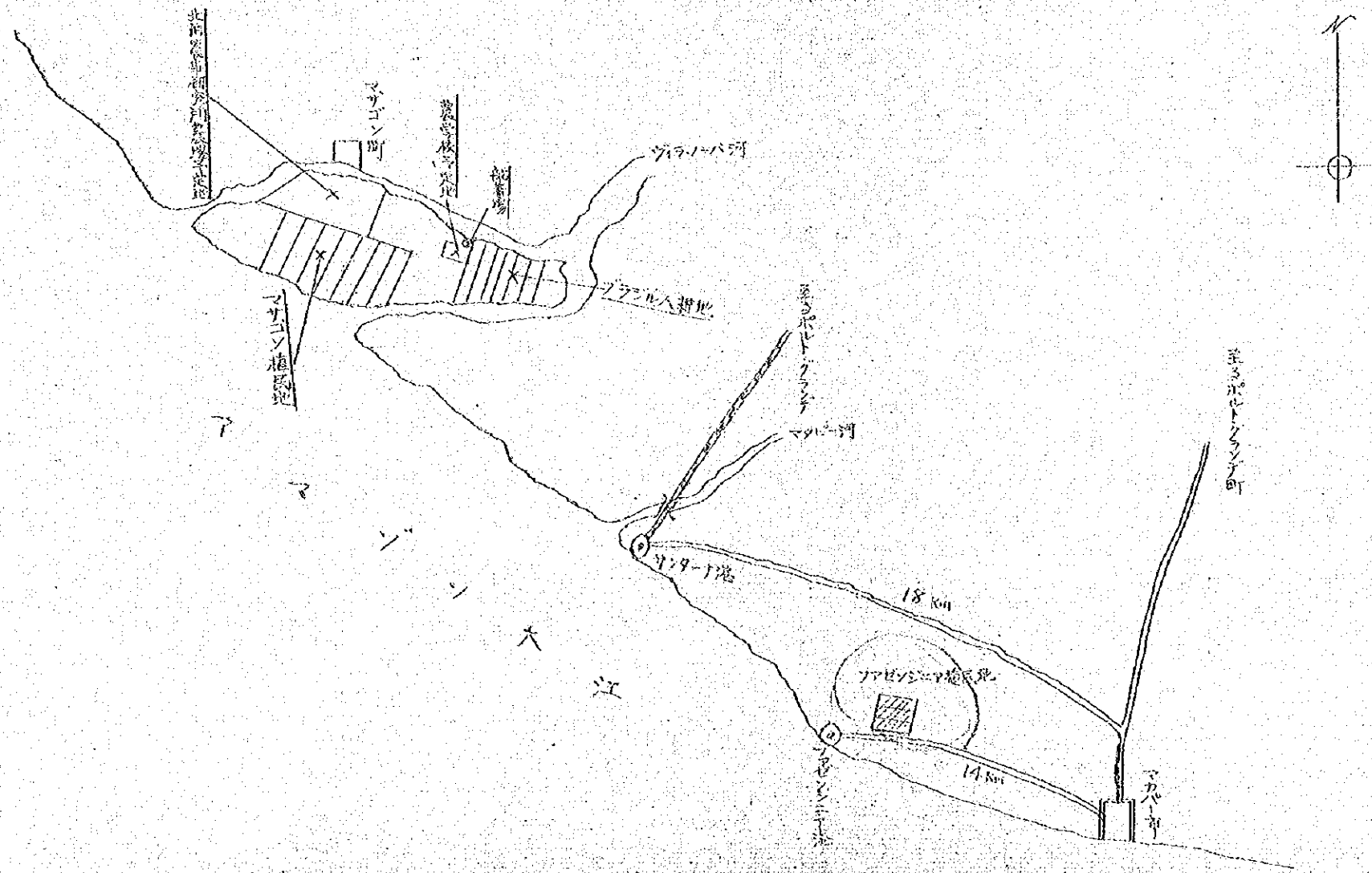
なし

十一その他

なし

№ 37

マザゴン及びファゼンジア植民地略圖



フアゼンジニア及びマカパー市近郊

一 所在地

首都マカパー市より離れたアマパー直轄地フアゼンジニア畜産農場内及びマカパー市近郊

二 営主体 アマパー直轄地政府

三 面積

(一) 総面積 不明

(二) 邦人所有面積 五〇町歩

(三) 邦人一戸当り面積 一〇町歩

但し吉留義行氏は政府より三割地与えられてゐる。

四 入植者数

邦人入植者 九家族 三五名

内訳

稼働人員 男 二〇名

女 一〇名

非稼働人員 幼児 五名

五 營農状態

別紙「邦人移住者營農状況統計表」参照のこと

六 教育

フアゼンジニア農場内に小学校があるが、距離および仕事の関係上通学者なく、一部マカパー市夜学校に通学する青年あり

七 衛生

(一) 診療所

診療所はあるが、病気の時、邦人はマカパー病院を利用する。

(二) 診察

廻診も多く、薬品の備えもない

四 衛生状態

良好であつて健康地、時々マラリアが発生する程度

八 道路交通

(一) 町までの距離

マカバリ市まで約一小時

(二) 道路

坦々たる良道

(三) 交通機関

毎日政府のトラックが定時に配車される

(四) 運賃

政府トラックと利用する場合、毎月三、五〇〇、〇〇〇を支払う

九 組合

なし

十 その他の団体

なし

十一 その他

本植民地は首都マカバリ市の市民に疎菜を供給するため直轄地政府が邦人疎菜栽培者のみを入植せしめた植民地で、首都の郊外に所在し、収入も多く、生活は豊定している

マザゴン植民地

一所在地

アマバト直轄地首御マカパト市上流三三料のマザゴン郡バレイラ島に在る

二管主体 アマバト直轄地政府

三面積

(一)総面積 四七五町歩

(二)段耕地面積 七一町歩

(三)邦人所有面積 二一七町歩

(四)邦人一戸当り面積 三二町歩

当植民地の耕地条件は良く、高台地と低湿地との割合になっており

農業上都合がよい

四入植者数

(一)総入植者数 一三家族

(二)邦人入植者数 四家族

(三)邦人入植者数 七家族

内訳

稼働人員 男 一六名

女 九名

非稼働人員 幼児 一六名

五管農状態

別添「邦人移住者管農状況統計表」参照のこと

六教育

当植民地には小学校なく、現在植民地内に開校を予定し農学校と建築中と

ある

就学児童はマザゴン町に在る小学校に通学している

七 衛生

(一) 病院診療所

植民地内には病院も診療所もなく、マザゴン町の病院に行く。

(二) 医師看護夫

マザゴン町の病院には医師一名、看護夫四名がいる。

(三) 診察

臨時診察を行い、診察料無料、入院も可能である。

(四) 薬品

必要な薬品少く、一般必需薬品はマカパ市で購入、常備している。

(五) 一般衛生状態

マラリヤ病以外に恐るべき風土病、流行病はない。

(六) その他

急な場合、マザゴン病院より医師の往診を受けることが出来る。

八 道路交通

(一) 町までの距離

植民地船着場よりマザゴン町まで、水路約一・五料

マザゴン町よりマカパ市まで、小路約三・三料

(二) 道路

邦人入植地より船着場までの一・九料の道路は低湿地にあるため、非常に

交通不便であるので、目下修理に力を入れている。

(三) 交通機関

1. 海協連貸与モーター船

当支部より貸与の三屯積モーター船で、植民地船着場よりマザゴン町

サンタナ港およびマカパ市に往復して生産物輸送の便を計っている。

る。

2. マザゴン郡役所モーター船

毎週月・水・土の三回定期的にサンタナ港まで就航する。



(四) 運賃

マザゴン植民地よりサンターナ港まで	一人	二〇〇〇
	一俵	一〇〇〇
サンターナ港よりマカパー市まで	一人	三五〇〇
	一俵	一〇〇〇

(五) その他

直轄地政府との入植条件では、入植後三年間は生産物の輸送費は無料となつてゐるが、郡所有船と使用するため有料となる。

九 組合活動

(一) 組合名 マザゴン産業組合

(二) 組合員数 九名

(三) 組合長 竹下純則

(四) 出資金 なし 但し組合資金として生産物協同販売額の一部を積立てる

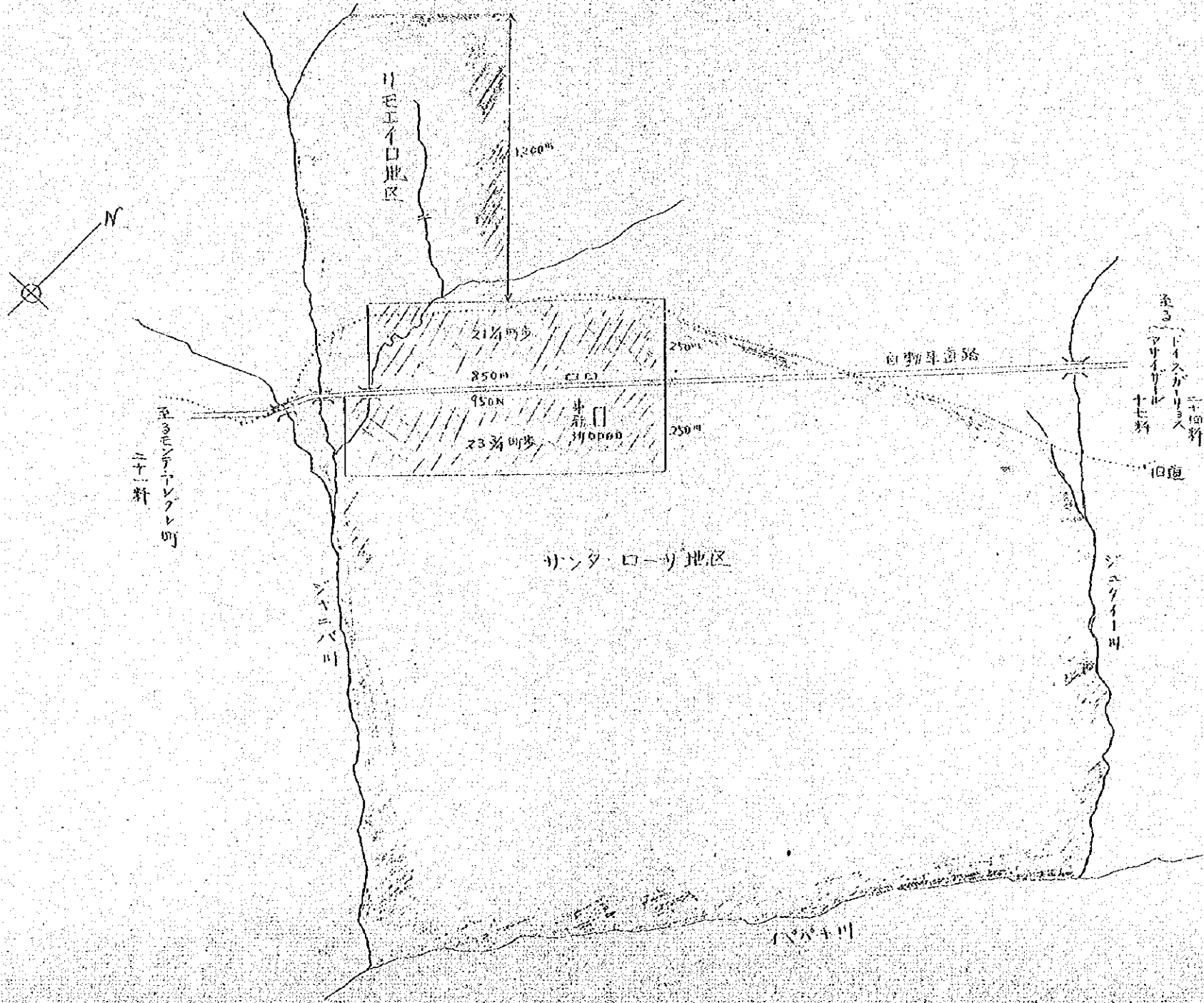
十 その他団体

青年会が最近組織されたが、未だ活動してゐない

十一 その他

なし

№ 43



モンテアレグレ種苗園略図

系3  
トリスカリウス  
アサヒサト  
十七科  
二十回料  
旧産

至モンテアレグレ  
二十回料

リモエイロ地区

サンタ・ローリ地区

白物峠道路

ジヌクイ川

イサハ川

モンテアレグレ種苗農場

所在地

パラ州モンテアレグレ郡サンタローザに在り、モンテアレグレ町の東北  
ニ一軒の地奥に在る。

経営主体 海協連アマゾン支部

所有面積 二三町歩

利用面積 四五町歩

五人員

(一) 職員 二名

但し四月より一名増員の予定

(二) 従業員

1 助手 一名 (白人)

2 労働者

季節により不定であるが、平均七名

六付属建造物

(一) 事務所

一棟

(二) 従業員宿舎

五棟

1 家族用

一棟

(三) 鶏舎および豚舎各一棟

二棟

(四) 車庫 (未完成)

一棟

(五) 揚水用給水塔

一基

七付属車輛機械器具

(一) トラック (シボレー五六年型六車積)

一台

(二) トラクター (インターナショナルニ五馬力)

一台

但しプラウ、ハロー、除草機、播種機付

(一) 脱粒機 一台

(二) 噴霧器 (背負手動式) 一台

(三) 水揚ポンプ 一台

(四) 籾摺機 一台

(五) 精米機 一台

(六) 発動機 (五馬力) 三台

但し脱粒機、水揚ポンプ、精米機用

(七) 足踏式脱穀機 一台

(八) リヤカー 一台

(九) 雨量計、湿度計、湿度計各一式

八種畜種鶏

種豚 (カロンシニヤ)

種鶏 (ニューハンブシャー)

一九五八年度の事業

(一) ケナフ、楮、ラミイの育成試験

(二) 陸稲の各種育成試験

(三) 種子・種畜の育成

1. 陸稲 (ドランドン、メルイソ、アマレロン、チキリス、マトグロンソホ)

ハカネラテラエーロ)

2. コム 三〇〇〇〇本

3. コーヒー 四〇〇〇〇本

4. カカオ 三〇〇〇本

5. ココアナン 一〇〇〇本

6. フドー 一〇〇本

7. 蜜柑 一〇〇〇本

8. 落花生 三〇〇〇庭

9. 果樹類 (アバカテ、ブプニヤ等の他)

(四) 観察観測

十一九五八年度における介譲配付

(一) 種子および種苗

陸稲 玉蜀黍 カカス、カフエー、緑肥作物等

(二) 種鶏種卵

種鶏 二五羽

種卵 二七五四箇

十一九五九年度において新たに実施中の事業

(一) マンショカニの種の比較育成試験

(二) ナンホーの育成試験

(三) 玉蜀黍 (イブリード種) の二世代配試験

(四) 機械化による稲作試験

(五) 緑肥作物の試作

クワンゾー、フェジョンデポルゴ、ムクナブレータ、クロタラリヤ

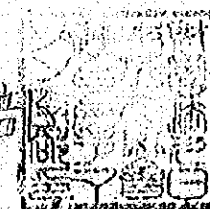
ジュンセー、セントロマン、プエラリヤ、アルツアアア等

1958年12月31日現在

アマゾン地域

邦人移住者営農状況統計表

海協連アマゾン支



家族・人員・土地調査表

1958年12月31日現在

所在州名		リオグラン	ロンドニ	アマゾン	パ			ラ			アマパー			合	備	
植民地名		タイアノ	トレゼ	ベラズカ	マオス	モンテ	アレグレ	グ	ワ	マ	マツピ	マリゴ	アレン	計	考	
地区別			セランポ					カサバ	アレン	マ						
経営主体		直轄地	直轄地	INIC	州	INIC		INIC		INIC	直轄地	直轄地	直轄地	計		
人員	家族数	13	24	32	17	29	35	64	54	55	109	27	7	9	302	
	人員	76	145	169	118	185	207	392	304	295	599	141	41	35	1,716	
	稼働人員	37	70	96	59	107	121	228	187	184	371	91	225	22	999	
	非稼働人員	39	75	73	59	78	86	164	117	111	228	50	16	13	717	
	個人	37	24	85				1,000			79	41	4		1,270	
土地	植民地総面積	2,000	1,750	15,000	不明			360,000	9,830	23,180	33,510	4,875	474	不明	417,609	単位：町歩
	所有面積	340	720	750	425	1,270	2,760	4,050	6,120	1,080	2,200	1,170	217	50	9,922	
	開墾面積	230	429	346	51	359	761	1,120	257	145	402	794	28	27	3,427	
	利用中の面積	72	242	280	51	326	532	858	110	112	252	590	21	27	2,393	
	1958年 伐採面積	18	45	45	51	120	110	230	73	134	207	52	33	0	681	
1戸当り 所有面積	30	30	30	25	445	42		20	20		30	30	10			
摘要																



植民地現況調査表

1958年12月31日現在

植民地名		タイアノ	トレビテ セテンプロ	ベラウスタ マオス郊外	モンテアル	グヤマ	マタピー	マリゴン	スポンニヤ	合計
教	学校数	1	1	2	—	2	1	—	マカパー市の	9
	教員数	2	1	2	—	2	14	2	の小学校に	23
育	伯国児童	103	14	32	—	不明	266	5	通学	440
	邦人児童	17	46	25	—	83	210	29		
衛	病院 診療所	1	1	2	—	1	1	1	マザゴン町の	マカパー市の
	医 生	—	市病院と利用	—	—	1	2	—	病院と利用	
交	最新都市計画	200 <sup>km</sup>	9 <sup>km</sup>	6 <sup>km</sup>	40 <sup>km</sup>	37 <sup>km</sup>	48 <sup>km</sup>	127 <sup>km</sup>	33 <sup>km</sup>	11 <sup>km</sup>
	船舶数	—	—	5	—	—	4	—	1	—
通	トラック数	—	1	2	1	1	3	1	—	—
	組合数	1	1	—	—	1	2	—	1	—
組	組合員数	27	24	—	—	58	82	—	9	—
	資金総額	17,000	57,600	—	—	211,000	820,000	—	0	—
合	組合活動	利用	利用	—	—	販売購買利用	販売購買利用	—	利 用	—
	その他団体数	1	2	1	1	3	6	—	1	—
	団体員数	—	—	—	—	—	63	—	—	—
										200
										1,105,600

植民地別永年作植付現況 (単位:本数)

1958年12月31日現在

植民地名	植付後年数	モロコシ				グ			マ		合計	
		タイ	セレンガ	スマタラ	マカ	カラ	スラ	計	マタ	マゴ		
ゴ	4年以上			40,327			889	889			75,779	116,997
	3年以上		46,983	27,000		35,838		35,838			63,283	127,549
	2年以上		16,570	4,580							20,030	41,100
	1年以上		3,000						17,500	17,500	38,400	66,945
	1年未満								31,120	50,000	81,120	81,120
ム	計		66,553	52,527		35,838	889	44,727	31,120	67,500	98,620	197,492
カ	3年以上			23,416		579	5,355	5,934			258	29,608
	2年以上	2,150	1,477			1,000		1,000				4,627
フ	1年以上	2,020	2,204			1,000		1,000		2,810	2,810	8,252
イ	1年未満		4,000						6,000	3,000	9,000	13,000
	計	4,170	7,681	23,416		2,579	5,355	7,934	6,000	5,810	11,810	55,487
カ	3年以上					2,338	948	3,286			224	3,510
	2年以上										500	500
カ	1年以上	47								10,730	10,730	10,777
	1年未満								18,320	19,570	37,890	41,245
オ	計	47				2,338	948	3,286	18,320	30,300	48,620	56,032
ピ	2年以上		179	2,135		595	208	803			1,152	4,269
	1年以上	122		950		500		500				1,572
	1年未満								1,250	1,250	82	1,332
メ	計	122	179	3,085		1,095	208	1,303	1,250	1,250	1,234	7,173

№ 4 (その二)

作物名	植民地名 植付後の年数	タイヤノ	トレピテ セテンブ	ベラウスタ	マナキマ	モンテアレグレ		クワ		マ	マタピー	マザゴン	カゼンビヤ	合計
						トスガリス	アウイザール	カウパル	ペレナンゴ					
果	4年以上													
	3年以上		2,041	不							不			2,041
	2年以上	450						248		248				698
	1年以上	320	2,000					2,692		2,692				5,012
	1年未満	372		明				2,337	2,500	4,837	明	3,300		8,509
	計	1,142	4,041					5,277	2,500	7,777		3,300		16,260
ココ	4年以上													
	3年以上		245				388	388			930			1,563
	2年以上					400	500	900	200		200	82		1,182
	1年以上					1,809		1,809	669		669			2,478
	1年未満		55						228	950	1,178	1,012		1,233
	計		300			2,209	888	3,097	1,097	950	2,047			6,456
ウルク	3年以上													
	2年以上													
	1年以上								4,620	15,300	19,920			19,920
	1年未満								9,300	37,500	46,800			46,800
	計								13,920	52,800	66,720			66,720
バナ	3年以上		5,930											5,930
	2年以上	1,100									1,165			2,265
	1年以上	355		7,073							16,465			24,022
	1年未満										23,983			23,941
	計	1,455	5,930	7,073							41,415			56,158



植民地別短期作物植付現況

1958年12月31日現在

作物名	名 917-1	トローセテ セテンプロ	ベテアシタ	マリス郊外	モンテアレグレ			グワマ			マタピー	マザゴン	カペンゲ	合計
					マカガ	アサカ	計	カサパル	ペルナンコ	計				
米	25.0	134.0	46.0	31.0	127.0	135.0	262.0	136.0	15.0	286.0	124.0	24.0	932.0	
玉蜀黍	37.0		0.3		62.0	157.0	219.0	9.3	30.0	39.3	17.0	0.3	312.9	
豆	2.5	0.5	7.5	0.5	35.0	86.0	121.0		15.0	15.0		0.2	147.2	
落花生	0.6		0.4			2.8	2.8		4.0	4.0			15.5	
胡麻	0.4				17.0	7.3	14.3		1.0	1.0			25.7	
ジャート種子			0.7		35.0	45.0	80.0						80.7	
煙草					2.6	3.4	6.0						7.0	
甘蔗			10.3			1.0	1.0		1.0	1.0	13.0		25.3	
マンジョカ	24.3	27.8	140.0	4.2	1.2	17.6	18.8	3.2		3.2	168.0	1.2	4.5	392.0
マカセイラ	5.5	53.3	79.0	5.6	4.2	3.3	7.5	3.1		3.1	14.5		2.0	170.5
野菜類	0.5	5.5	5.4	0.8				27.5	20.0	47.5	16.0	2.8	14.0	92.5
瓜類								3.0		3.0			1.0	4.0

植民地別家畜等飼育現況

1958年12月31日現在

植民地名 家畜名	タイアール	トルーベテ セランゴ	ペラウスタ	マナオス	モンテ・アレグレ		マ		マタピー	マリコン	ズビバ	合計
					ボスガヤ	アライバル	カラバル	バルナンコ				
牛	2	13	3			14	16	3	19			51
馬	1	3	1			20			13			38
山羊		4				4						8
豚	72	38	13	6		560	63	62	125	39	10	863
成鶏	252	1,245	732	200		3,217	1,548	2,672	4,220	1,362	440	11,878
家鴨	11			8		59	70	32	102	52	18	290
その他家禽	11	4				20	25		25	30	15	105



1958 農年度収入調査 [単位：クルゼイロス]

1958年12月31日調

収入項目	植産物名	地区名											合計		
		タイア-1	ト-セデ セランプロ	ベラダスタ	マオス郊外	モンテアレクレ			マ			マタビ-		マサゴン	カリンシト
					カスガリス	アサヤル	計	カラバル	ペルナンブコ	計					
永 年 作 收 入	カフェー			21,600								1,060			22,660
	ウルグー							21,600		21,600					21,600
	カカオ						200	200				815			1,015
	ピーナツ		1,350	80,925		16,430	10,640	27,070				50,628			159,973
	バナナ	58,980	299,000	370,000					182,400	250,000	432,400	37,200	1,000		1,200,580
	アバカシー	4,500	302,800	270,000								368,368	320		945,988
	果物	5,000	8,690	29,320		49,200	20,100	69,300	12,000		12,000	28,500		24,200	177,010
	ココ椰子		350									1,074			1,424
クマウター			37,320											37,320	
計	68,480	612,170	809,195		65,630	30,940	96,570	216,000	250,000	466,000	487,645	1,320	24,200	2,567,600	
短 期 作 收 入	米	175,900	1,049,296	191,567		778,500	658,300	1,376,800	1,322,730	1,889,500	3,222,230	535,050	350,000		6,900,843
	玉蜀黍	117,680				247,900	302,840	550,700	12,900	58,345	71,245	16,350	4,150		760,125
	甘蔗			65,000						3,030	3,030	128,440			196,470
	豆	2,580				145,800	63,400	209,200		6,900	6,900		2,360		221,010
	落花生	2,900					800	800		22,122	22,122				26,422
	胡麻	2,750				15,820	26,640	42,460		1,425	1,425				46,585
	シト椰子					387,111	473,937	881,050							881,050
	ファミリーマ	101,520		745,600					1,800		1,800	880,000		24,550	1,753,420
	マカセーラ	7,070	455,570	12,600		28,500	61,000	89,500	11,040		11,040	168,000			743,334
	煙草					29,400	30,000	59,400							59,400
	野菜	650,000	不明	1,326,200	52,430					2,085,400	1,056,437	3,141,832	141,500	33,070	3,848,717
瓜類								52,550		52,550	29,825	3,500		85,875	
計	1,060,320	1,958,990	2,340,967	52,430	1,573,031	1,636,879	3,209,910	3,496,420	3,038,354	6,534,774	1,899,125	413,080	587,327	21,342,853	
家 畜 收 入	牛・豚	7,700	9,170	21,600		36,450	36,450	72,900	26,950	2,700	29,650	6,000			147,020
	鶏卵	4,600	159,059	42,470		18,000	18,870	36,870	146,450	48,420	194,870	75,000	1,500		514,369
	計	12,300	168,229	64,070		54,450	55,320	109,770	173,400	51,120	224,520	81,000	1,500		661,389
雑収入	45,000	16,710	29,460					291,100	172,100	463,200	310,520			864,940	
合 計	1,188,100	2,756,169	3,243,692	52,430	1,693,111	1,723,139	3,416,250	4,176,920	3,511,594	7,638,494	2,780,330	415,900	389,747	25,436,782	



1958年度支出調査 [単位：クルピロス]

1958年12月31日調

支出費	種民地名	モシテアレブレ			グ			マ			合計					
		917-1	トレセテ ヒラソフ	スラウスタ マシキル	計	カラバル	コルツク	計	マシ	マシ	マシ	合計				
生	労賃	53,600	351,243	418,679	---	---	474,937	484,090	152,240	635,280	147,737	70,000	692,320	2,803,791		
	運搬費	106,300	84,241	105,171	---	---	245,790	87,700	9,320	97,020	47,065	20,975	88,800	797,301		
	肥料代	42,500	47,989	107,970	---	---	3,200	257,710	42,430	300,140	5,500	1,650	281,890	790,749		
	種子代	34,265	26,157	---	---	---	---	68,160	48,890	114,050	8,430	2,100	61,798	249,800		
産	種畜代	---	---	38,270	---	---	39,775	---	---	---	---	2,100	---	80,165		
	機械器具費	165,910	237,554	558,542	---	---	254,969	270,600	107,605	378,205	40,555	3,535	287,550	1,726,820		
	農薬代	---	6,710	41,200	---	---	8,570	66,110	20,445	86,555	---	4,500	24,400	167,905		
	付帯費(袋代)	65,000	---	21,860	---	---	41,140	39,950	---	37,950	27,286	9,650	---	204,886		
費	雑費	---	12,271	---	---	---	---	---	53,000	53,000	9,610	---	700,000	774,881		
	計	467,575	766,165	1,091,711	---	---	646,354	425,242	1,666,376	1,274,270	433,910	1,708,180	308,183	47,260	2,138,668	7,596,147
生	食費	328,170	634,441	1,038,267	---	---	529,500	1,165,500	1,082,000	2,247,500	530,240	222,757	652,251	6,183,120		
	衣料費	42,000	79,181	153,010	---	---	203,065	93,950	46,070	140,020	69,520	2,000	94,330	783,126		
	住居費	120,000	65,299	78,800	---	---	54,187	50,100	171,670	221,770	3,500	18,366	266,040	868,164		
	衛生費	22,610	67,624	148,910	---	---	150,650	63,050	71,870	134,720	52,127	10,451	53,220	641,034		
消	教育費	8,600	25,281	86,160	---	---	86,130	48,130	11,815	58,945	15,967	---	13,150	289,235		
	文化費	---	18,713	29,770	---	---	57,720	28,675	9,480	38,155	7,215	---	64,900	210,543		
	娯楽交際費	3,000	11,488	132,679	---	---	26,010	126,770	118,300	245,070	45,480	9,456	198,672	665,875		
費	雑費	20,970	46,911	63,070	---	---	50,430	---	326,150	326,150	146,717	43,547	295,660	993,665		
	計	545,540	968,938	1,731,660	---	---	463,431	771,863	6,802,274	1,578,195	1,837,355	8,412,520	870,770	306,577	1,638,223	10,634,752
合	計	1,013,115	1,715,103	2,823,371	---	---	1,043,893	670,395	2,244,640	2,849,965	2,271,265	5,120,730	1,177,153	355,877	3,776,891	18,230,899

収支表

1958年12月31日現在

種民地名	モンテアレグレ				グ			マ			合計				
	タイア-1	トレ-セチ セチンゴ	ペラ-1124	マリスボ	マリスボ	マリスボ	マリスボ	マリスボ	マリスボ	マリスボ					
収入	総額	1,186,100	775,616	3,243,672	---	1,673,111	1,123,139	3,416,250	4,176,920	3,571,374	2,888,494	2,780,330	415,700	3,897,417	25,384,352
	一戸平均	91,238	114,840	101,365	---	58,383	49,320	53,378	77,350	63,846	70,536	102,975	57,414	433,046	89,067
支出	総額	401,315	1,715,103	2,823,371	---	1,043,785	1,202,905	2,246,690	2,849,465	2,271,265	5,120,730	4,171,153	355,846	3,776,891	18,230,899
	一戸平均	27,932	71,463	88,230	---	35,972	34,263	35,104	52,767	41,295	46,977	43,672	43,796	419,659	63,968
	内 営農費	467,525	766,165	1,891,711	---	641,354	425,942	1,066,396	1,274,270	433,910	1,708,180	308,183	49,269	2,138,668	7,596,147
	内 生活費	545,540	948,938	1,731,660	---	402,431	777,863	1,180,274	1,575,195	1,837,355	3,422,550	870,970	306,577	1,638,223	10,634,752
	内 営農費	35,967	31,923	34,115	---	22,115	12,144	16,662	23,577	7,887	15,671	11,154	7,038	237,625	26,653
	内 生活費	41,964	39,539	54,114	---	13,876	22,224	18,442	27,179	33,406	31,307	15,835	43,796	15,405	37,314
	(収入) - (支出)	172,985	1,041,066	420,321	---	629,326	520,234	1,169,560	1,327,455	1,240,309	2,567,764	1,609,177	60,054	1,205,266	7,153,453
	(営農費) (収入) %	39.42	27.79	33.65	---	37.88	24.66	31.21	30.51	12.35	22.23	11.08	11.84	54.87	29.92
	(生活費) (収入) %	45.99	34.42	53.38	---	23.76	45.14	52.78	37.71	52.32	44.38	31.32	73.71	42.03	41.89
	(支出) (収入) %	85.41	62.21	87.02	---	61.64	69.80	83.79	68.22	64.67	68.60	47.40	85.55	96.90	71.81

- (注) (1) 収入は手持の生産物を時価で換算した見積額を計上しているが、モンテアレグレについては棚卸しを行っていない。しかシアサイザール、ドイスガーリス両地区とも一戸平均60~80,000の在庫があるため、平均収入はそれだけ増えるものと思われなければならない。
- (2) 自家消費、自家労力は含まれていない。即ち実際に金銭上の支出が行われるもののみが対象である。
- (3) 営農機械は勿論、製造加工機械および交通運輸手段(モーター船等)も営農費に包括されているため、営農費支出が大きいところもある。この傾向は今後も続くものと思われる。
- (4) アッセンジエヤの収入に対する営農費が高率であるのは、野菜等阿栽培業者として止むを得ない。
- (5) マリゴンおよびクワマ(ペルナンブー)の生活費の収入に対する比率が高いのは、入植後一年余はしか過ぎぬが、ドイスガーリスの如きは自給自足優勢が出来ているので、生活費支出が少い。
- (6) 一帯に都市近郊の植民地では娯楽費が大きい。

各地農産物販売価格 (単位：クルゼイロ)

1958年12月31日調

生産物名	植民地名	717-1	トルセフ セテマロ	ベラマ マ	マラマ マ	マラマ マ	マラマ マ	マラマ マ
精米	Kg	13.30	20.00	20.00	13.30	20.00	13.30	20.00
アムニヤ	"	11.00	11.00	10.00		7.00	10.00	10.00
豆	"	40.00	24.00	20.00	17.00	20.00	34.00	34.00
マカセラ	"	3.00	1.00	6.00		2.00	5.00	5.00
薩摩芋	"	4.00	5.00	10.00			5.00	5.00
豚脂	"	62.00			55.00			
バナナ	房	30.00		40.00		65.00		
玉蜀黍	Kg	4.00			4.00	6.00	7.00	7.00
鶏	羽	110.00	20.00		70.00	80.00	150.00	150.00
卵	個	3.00	3.00		2.00	5.00	5.00	5.00
キャベツ	Kg		50.00	30.00	30.00	30.00	20.00	20.00
胡瓜	"		5.00	15.00		15.00	6.00	6.00
アムニヤ	房		5.00	15.00	3.00	4.00	2.00	
胡椒	Kg			65.00	70.00	84.00	120.00	120.00
アムニヤ	"			40.00			53.00	53.00
カカオ	"			52.00		60.00	35.00	
アムニヤ	個		7.00	15.00		8.00	12.00	
グワナ	Kg			70.00				
煙草葉	"						80.00	80.00

消費物資小売価格 [単位: ヲルセバ]

1958年12月31日調

商 品 名	単 位	植 民 地 名				
		タイ	フィリピン	インドネシア	マラヤ	ボルネオ
精米	Kg	18.00	25.00	28.00	16.00	25.00
小麦	Kg	18.00	25.00	15.00	15.00	12.00
豆 (上)	"	40.00	30.00	30.00	24.00	30.00
豆 (中)	"	20.00	25.00	25.00		20.00
マンショウ	"					
マカセウ	"	5.00	2.00	10.00		7.00
馬鈴薯	"		60.00	50.00	60.00	50.00
玉葱	"		100.00	60.00	100.00	70.00
キャベツ	"		50.00	40.00	40.00	35.00
胡瓜	"		15.00	20.00		35.00
アスパラ	房		5.00	5.00	5.00	8.00
砂糖 (上)	Kg		35.00	24.00	25.00	20.00
砂糖 (中)	"		30.00	25.00	20.00	20.00
塩	"		10.00	15.00	10.00	8.00
胡椒	"	250.00	200.00	120.00	100.00	
食用油 (上)	リ		350.00	300.00		250.00
食用油 (中)	"		100.00	70.00	70.00	65.00
バター (上)	Kg		300.00	230.00	250.00	220.00
バター (中)	"		250.00	200.00	180.00	160.00
燐黄 (上)	個	2.00	12.00	11.00	10.00	8.00
ビール	本	80.00	50.00	50.00	50.00	45.00

商 品 名	単 位	植 民 地 名				
		タイ	フィリピン	インドネシア	マラヤ	ボルネオ
小麦粉	本	20.00	14.00	10.00	14.00	8.00
小麦粉	Kg	45.00	40.00		45.00	35.00
梅原牛	"	7.00	8.00	15.00		8.00
カニ	"		120.00	70.00	120.00	66.00
小麦粉	"		40.00	30.00	30.00	25.00
ジャガイモ	丁		200.00	180.00	180.00	150.00
ジャガイモ	"		200.00	200.00	240.00	160.00
バナナ	個		700.00	420.00	480.00	390.00
バナナ	房	80.00	25.00	120.00		160.00
バナナ	20個	380.00	300.00	270.00		200.00
バナナ	11		15.00	13.00		9.00
バナナ		30.00	25.00	30.00	30.00	30.00
バナナ	半張		200.00	200.00	150.00	200.00
バナナ	50kg		768.00	700.00	700.00	560.00
バナナ	50kg		475.00			
バナナ	30kg		675.00	400.00		310.00
バナナ	140	140.00	150.00	180.00	100.00	150.00
バナナ	個	6.00	6.00	6.00	4.00	7.00
バナナ	Kg		90.00	60.00	55.00	60.00
バナナ	"		85.00	45.00	45.00	60.00
バナナ	"	25.00	40.00	45.00	45.00	60.00



